

理 科 3 年（化学・生物） 教科の目標

○電解質水溶液や酸、アルカリ、中和に関する実験を行い、原子やイオンのモデルと関連付けて理解させる。
○化学電池の基本的なしくみについて水溶液中のイオンの動きで理解し、化学変化における規則性や関連性を見い出せるようにする。
○身近な生物についての観察・実験を通して、生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解させるとともに、生物の多様性と進化、生命の連続性についての認識を高める。

学習計画

1学期（週 2時間）			2学期（週 2時間）			3学期（週 2時間）		
月	週	内容	月	週	内容	月	週	内容
4	1	水溶液とイオン	9	17	生物の成長と生殖	1	35	自然環境の調査と保全
	18			中間考査(17～18日)	36		入試対策問題演習	
	19				37			
	4			20	2	38	科学技術と人間 持続可能な社会のために 学年末考査(22～25日) 3年間のまとめ	
5	5	酸・アルカリとイオン	10	21		遺伝の規則性と遺伝子		39
	6			22		40		
	7			23		41		
	8			24	3	42		
9	25	43						
6	10	化学変化と電池	11	26		生物の多様性と進化		44
	11			27	期末考査(10～12日)	45		
	12			28				
	13			29				
7	14	生物の成長と生殖	12	31		自然の中の生物		
	15	遺伝の規則性と遺伝子		32	自然環境の調査と保全			
	16			33				

評価について

	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	観点の割合	33%	観点の割合	33%	観点の割合	33%
評価資料	定期考査 小テスト 実験、観察プリント 課題		定期考査 小テスト 実験の考察 課題 ノート		ノート、ワーク 小テスト 実験、観察プリント 定期考査 課題 授業の様子	

学習の仕方と評価のポイント

- ・毎時間、意欲的に取り組み、ノートを書き、プリントに取り組みましょう。
- ・考察を大切に自分の考えを表現しよう。様々な考えや知識を活用し新たな課題や疑問を見い出そう。
- ・授業プリント(実験観察プリント含む)はファイルにとじて保管し家庭での復習に利用しましょう。
- ・提出物(プリントやオクリンクプラスなどの課題)は、必ず期日を守って提出しましょう。
- ・定期考査前にはノートとプリントを見直し、ワークを繰り返しやりましょう。
- ・実験を安全上の注意をよく話を聞き、指示に従って真剣に取り組みましょう。